

どーらく 改題 土楽たより

断捨離

4月号(NO96)

2018年4月10日(火)発行(毎月10日)

【農暦】桜の下を歩く！

○桜の開花のニュースに誘われるようにしてくだんの散歩ルートにしている大堀川を歩いた。満開であった。市民の寄贈で植えられた桜並木である。大樹になって見事な景観を作っている。ミニの花見の会も散見された。夜桜でないので妖艶とは言えないが桜の下を歩くと何か特別なものを感じる。花冷えの言葉があるが、桜に嫉妬するかのように悪天が多い。今年は好天に恵まれた。桜が創る華やかな特別なものがある。何故か、お酒と団子が欲しくなる。(27日)

○桜を巡って、いろいろな事が思い出された。横須賀海兵隊の予科練(航空隊でなく通信兵)に入隊し、米軍に轟沈され乗る船がなく、生き残れた叔父(当時15歳)に育てられた私が、最初に出会った桜は“七つボタンは桜に錨”の歌詞であった。桜とは、お国のために命を捧げることであった。これが最初の出会いで、浅野内匠頭、遠山金四郎であり、靖国の桜であった。桜と菊は軍国日本を象徴するものとして、ごく自然に理解していた。同世代より上の人ほとんどがそうであったと思う。そんな思いがあったので、合併した笠間市の木が桜、花が菊、鳥が鶯にはビックリした。この市は大丈夫かなと正直思った。



<満開の桜並木>桜の下を歩く。

27日撮影

○外国人観光客が多く訪れる上野公園の花見のニュースを見ながら、入社間もない頃に、ほぼ同じ所で場所取りをした事が懐かしく思い出された。この頃から、お国のために散る桜から太閤秀吉の花見の宴、江戸庶民の花見に繋がる花見の文化に私の中で替わった様に思う。だが最近、テレビのニュースなどで空母や駆逐艦を見ると“七つボタンは桜に錨”に重なり、世論の変化が怖い。これからは、重い話は不用にして、外国人も参加した無礼講の花見も増えそうである。時代の流れを感じる。

○今日(6日)は車の運転が怖い程の強風が吹き、アクアラインは全面通行止めとラジオのニュースである。1日で10度近い温度差がまだ続いているが、既に葉桜ある。

○いよいよ農本番、キタアカリの種芋の植込み、本来は年越しさせる絹さやとスナックエンドウなど少量を植え込んだ。Iさんのサポートを頂き畑の片付けも進めている。今年こそ、畑の断捨離も進めながら、初心の菜園に行きたいと思っている。

【菜農】春耕と除草と断捨離で畑の景色が変わる！

<畑 A>・キタアカリの種芋を2畝植える(24日)。追加購入と昨年残りのキタアカリ(購入分と遜色なし)で2畝追加。・絹さやとスナックエンドウを少量植える(3日)。

畑の断捨離<畑 B>トラクター(ラクビーOBに18日)、トレーラーハウスと雑物一式(菜園仲間に17日)に引き取って貰う。地主さんへ返却の挨拶をする(24日)。<ハウス>廃棄物を搬送中に車が故障する(24日)*トラブル多く困惑してる。

【楽市】イベント交流・直売など

○イベントなど;横浜中華街でOB会(31日)詩吟例会・花見の会(4日)共生つばさの会(5日)川柳の会(5日)に参加など。○その他;なし

【つぶやき=Tweet】断捨離とは!

○何度かトライしているが、元の木阿弥になっている。断捨離のコーナーを設け、進捗を記録し推進したいと思っている。既に不要なものの量は危険水位を超えている。断捨離とは、“人生や日常生活に不要なモノを断つ、また捨てることで、モノへの執着から解放され、身軽で快適な人生を手に入れようという”考えと云われている。◇片付けはワンポジションからやろう。◇出したら元に戻そう。◇新規購入したら古いものは捨てよう。◇整理整頓の成果を体験しよう。◇ずぼらのツケは自分に戻るといしましょう。小学校の教室に貼られているようなものが机の前にある。ここ1ヶ月半では、畑の断捨離と雑誌書類など整理処分を続けている。出来たら計画的に進めたいと思う。

○映画を観る機会が少なくなっており、たまたま中日合作の映画「空海」を上映していたので観ることにした。空海には関心があった。詩吟で馴染みの白居易が主役に近い。李白は歌人の先達として扱われていた。白居易の「酒に対す」の“口を開いて笑わざるは是れ痴人”や三国志の英雄の曹操の「短歌行」の“唯だ杜康(酒)有るのみ”で終わる漢詩に惹かれる。歌人も三国志の英雄も人生を憂いてたのだ。曹操の「短歌行」は若い頃頂いた扇子に手書きで書かれていたものである。齢がそうさせるのか、最近人生を憂う詩が気になる。OB会で行った横浜中華街の関帝廟は関羽のもので曹操と覇を争った人である。偶然にも詩吟の漢詩の人に関わりのあるものに接したことになる。白居易は“貧に随い且らく歡樂せよ”と詠んでいる。人生を楽しみたいものだ。

【後記】いよいよ新緑の時季。笠間に、Kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダム構成にする】



<中華街の関帝廟>三国志の関羽の廟、OB会の折に31日撮



<満開の桜>思わず見上げる。桜並木で。27日撮影

発行者;小暮虎雄

住所;笠間市本戸4201-10

携帯電話;090-9333-4135

メール;torao-k@nifty.com

HP;kogure農場

<http://avaharu.my.coocan.jp>